

問1 摂関家を外戚に持たず、荘園整理令を出して藤原氏の勢力を抑えた天皇は誰？

1. 後三条天皇 2. 醍醐天皇 3. 白河天皇 4. 村上天皇

問2 平安時代中期、かな文字が普及し、日本の風土や生活感情が反映されるようになった、日本独自の文化を何という？

1. 天平文化 2. 鎌倉文化 3. 国風文化 4. 室町文化

問3 摂関政治を抑制し、独自の権力を取り戻そうとした天皇は誰？

1. 醍醐天皇 2. 村上天皇 3. 白河天皇 4. 後三条天皇

問4 平安時代中期に、貴族社会を題材とした長編物語『源氏物語』を執筆した女性作家は誰？

1. 清少納言 2. 紫式部 3. 和泉式部 4. 菅原孝標女

問5 平安時代末期、朝廷による平定が進んだ東北地方で、独自の勢力を築き上げた一族を何という？

1. 藤原北家 2. 奥州藤原氏 3. 平氏 4. 蘇我氏

問6 平治の乱で勝利し、武士として初めて太政大臣に任命された人物は誰？

1. 平清盛 2. 藤原頼長 3. 源義朝 4. 源頼政

問7 遣唐使の停止を建議した後、政争に巻き込まれて左遷された先はどこ？

1. 多賀城 2. 平安京 3. 大宰府 4. 平城京

問8 794年、奈良の平城京から都を現在の京都へ移し、新しい都を建設した天皇は誰？

1. 白河天皇 2. 聖武天皇 3. 桓武天皇 4. 嵯峨天皇

問9 平安京が碁盤の目状に整備される際に、手本とされた中国の都はどこ？

1. 洛陽 2. 平安京 3. 長安 4. 平城京

問10 上皇が権力を強めるため、自らの警護や武力行使のために雇った地方の武士団を何という？

1. 北面の武士 2. 西面の武士 3. 六波羅探題 4. 侍所

問11 清少納言が記した、宮廷の生活や自然について独自の感性で書きつづった日本を代表する文学形式は何？

1. 随筆 2. 日記 3. 物語 4. 和歌集

問12 平安時代中期に『源氏物語』を執筆し、一条天皇の中宮彰子に仕えた女性作家は誰？

1. 清少納言 2. 菅原孝標女 3. 紫式部 4. 和泉式部

問13 平泉の奥州藤原氏が、極楽浄土を表現するために建立した金箔の仏堂を何という？

1. 中尊寺金色堂 2. 平等院鳳凰堂 3. 法隆寺金堂 4. 東大寺大仏

問14 平安時代初期に、唐から真言宗を持ち帰り、金剛峯寺を建立した僧は誰？

1. 最澄 2. 円仁 3. 空海 4. 円珍

問15 天台宗において、あらゆる人が救われるという教えの中心となっている経典を何という？

1. 法華経 2. 大日経 3. 金剛経 4. 阿弥陀経

問16 平安時代後期に藤原氏の栄華の象徴として平等院鳳凰堂を建立した、当時の政治の実権を握っていた人物は誰？

1. 藤原頼通 2. 藤原基経 3. 藤原道長 4. 藤原良房

答え合わせ・解説

問1	答え 1 後三条天皇	後三条天皇は、母が藤原氏出身ではない天皇として即位しました。記録荘園券契所を設置して延久の荘園整理令を出し、不正な荘園を廃止して朝廷の財源を確保しました。これにより、藤原氏の経済的基盤が揺らぎ始めました。
問2	答え 3 国風文化	国風文化は、かな文字の発明によって大きく開花しました。ひらがなの普及により、和歌や日記、物語などの自由な表現が可能となり、紫式部の『源氏物語』や清少納言の『枕草子』といった作品が誕生しました。また、絵画では大和絵、建築では寝殿造など、日本の四季や風土に調和したスタイルが確立されました。
問3	答え 4 後三条天皇	後三条天皇は、母が藤原氏の出身ではなかったため、藤原氏の影響をあまり受けずに即位しました。彼は藤原氏の干渉を排除して政治を行うため、記録荘園整理令などの政策を打ち出し、天皇中心の政治を復活させようしました。この動きが、のちの院政へとつながる重要な転換点となりました。
問4	答え 2 紫式部	紫式部は藤原道長の娘に仕えた女房であり、宮廷社会の複雑な恋愛や人間模様を描いた長編小説『源氏物語』を執筆しました。当時の貴族の優雅な生活や、内面的な感情まで細やかに描き出したこの作品は、日本文学の最高峰とされています。
問5	答え 2 奥州藤原氏	奥州藤原氏は、藤原清衡から始まる4代にわたる一族で、平泉を中心に強大な経済力と軍事力を持ちました。金などの産出や対外貿易によって莫大な富を蓄え、中尊寺金色堂に代表される華やかな文化を築きました。
問6	答え 1 平清盛	平清盛は、平治の乱で源義朝を破って政権を握りました。武士として初めて太政大臣に任命され、一族の繁栄を築き上げました。また、日宋貿易を積極的に行い、経済的基盤も強化しました。
問7	答え 3 大宰府	道真の急激な昇進に嫉妬した藤原氏などの貴族によって、道真は無実の罪を着せられ、九州の大宰府へ左遷されました。道真はそこで失意のうちに亡くなりましたが、その後、都では道真の怨霊の仕業とされる天災や異変が相次ぎました。
問8	答え 3 桓武天皇	桓武天皇は、こうした古くからの仏教勢力の強い影響を断ち切り、天皇中心の強力な政治を行うために遷都を断行しました。まず長岡京への遷都を試みましたが、工事の難航や不祥事により中止し、新たに平安京を建設しました。平安京は四神相応という風水思想を取り入れた計画的な都市として設計されました。
問9	答え 3 長安	平安京は、唐の首都である長安の都市計画をモデルにして建設されました。道路が東西・南北に整然と交差する「条坊制」を採用し、北端中央に天皇の住まいである内裏を置く構造となっています。当時の高度な都市開発技術が集結された、日本を代表する計画都市です。
問10	答え 1 北面の武士	白河上皇が御所の北側に部屋を設けて警護させたことから「北面の武士」と呼ばれます。彼らは単なる警備員ではなく、実行使の手段として上皇の信頼を受け、次第に政治的な発言力を持つようになりました。
問11	答え 1 随筆	随筆（エッセイ）は、決まった形式にとらわれず、作者が思ったことや見たこと、季節の移り変わりなどを書き記す形式です。清少納言の『枕草子』はその代表格であり、彼女の鋭い視点やユーモア、時には批判的な意見なども書き込まれています。かな文字が使われたことで、日本語特有のリズムや情緒を豊かに表現できるようになりました。
問12	答え 3 紫式部	紫式部は、中宮彰子に仕える女房として宮廷で生活しながら、全54帖からなる『源氏物語』を執筆しました。この作品は、貴族社会の人間模様や恋愛、栄枯盛衰を細やかに描いた世界文学の傑作です。また、彼女が日々の生活や宮中の様子を書き留めた『紫式部日記』も、当時の歴史を知るための貴重な資料となっています。
問13	答え 1 中尊寺金色堂	中尊寺金色堂は、建物の内外を金箔で覆った非常に豪華な造りです。奥州藤原氏の財力を象徴するだけでなく、戦乱の絶えない現世を離れ、平和な極楽浄土を地上に再現しようという願いが込められています。
問14	答え 3 空海	空海は唐で密教を学び、帰国後に真言宗を開きました。密教とは、高度な修行と儀式を重んじる仏教の宗派です。彼は嵯峨天皇から高野山を下賜され、そこに金剛峯寺を建立して修行の拠点としました。多くの弟子を育て、学問の面でも大きな足跡を残しました。
問15	答え 1 法華経	法華経は、天台宗が最も重視する經典で、「すべての人は平等に救われ、仏になることができる」という教えを説いています。最澄はこの經典に基づき、人々に正しい修行と理解を求めました。この包摂的な教えは、特定の僧侶だけでなく、多くの人々に仏教の門戸を開く役割を果たしました。
問16	答え 1 藤原頼通	藤原頼通は、摂政・関白として約50年間政治の実権を握りました。当時、貴族たちの間では自分の財力や権力を誇示しつつ、極楽浄土に往生したいという切実な願いがありました。頼通はそれに応えるように、京都の宇治の地に壮大な平等院鳳凰堂を建立し、阿弥陀如来像を安置させました。